

授業科目名	疫 学 I			担当教員	守山 正樹	
開講年次	2年後期	セメスター	4	時間数(単位数)	30 (1)	
必修選択	選択	授業形態	演習	使用教室		
授業の目的	保健医療領域における原因追究の方法として、疫学の基本的な概念と方法を学習し、疫学的に考える視点を身につけ、EBMの基礎についても理解する。					
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 疫学指標の意義を理解し、自由に使いこなすことができる。</li> <li>・ 疫学的視点で、看護領域での問題点を考えることができる。</li> <li>・ 疫学マイクロレクチャーにより日本語に加えて英語で基本概念を理解する。</li> </ul>					
授業計画						
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者	
1	疫学の出発点・流行、観察、論理； 疫学三要素（時間・場所・人）；ミアズマ説	講義	マイクロレクチャー epd01 を予習して授業に参加・授業内容を復習。	30分 30分	守山	
2	疫学の三要素と原因究明の考え方；ジョンズノーの場合、高木兼寛の場合、ナイチンゲールの場合	講義	マイクロレクチャー epd02 を予習して授業に参加・授業内容を復習。	30分 30分	守山	
3	疾病の量的把握；現状を把握する有病率；疾病の発生を把握する罹患率；観察人年の考え方；有病率に関連の指標	講義	マイクロレクチャー epd03 を予習して授業に参加・授業内容を復習。	30分 30分	守山	
4	因果関係の考え方；原因と結果とは；因果関係の歴史的背景；病原体発見の考え方、コッホの原則；Hill の条件	講義	マイクロレクチャー epd04 を予習して授業に参加・授業内容を復習。	30分 30分	守山	
5	相関関係・因果関係；相関と因果の違い；相関と交絡；多要因原因説、多要因モデル	講義	マイクロレクチャー epd05 を予習して授業に参加・授業内容を復習。	30分 30分	守山	
6	疫学研究法とは；出発点としての記述研究；水俣病の発見から原因解明；スモン病の発見から原因解明；HIV エイズの発見から原因解明	講義	マイクロレクチャー epd06 を予習して授業に参加・授業内容を復習。	30分 30分	守山	
7	生態学的研究；地図とグラフから考える；生態学的錯誤；横断研究；アンケート調査とクロス集計・仮説の確認・四分表の作成	講義	マイクロレクチャー epd07,08 を予習して授業に参加・授業内容を復習。	30分 30分	守山	
8	症例対照研究；研究手順；症例群と対照群のマッチング；過去の曝露情報収集；四分表；オッズ；オッズ比	講義	マイクロレクチャー epd09 を予習して授業に参加・授業内容を復習。	30分 30分	守山	

9	コホート研究：コホートの意味；ベースライ調査；曝露群と非曝露群の設定；追跡すべき人数と追跡期間；累積罹患率、罹患率；相対危険度、寄与危険度	講義	マイクロレクチャー epd10 を予習して授業に参加・授業内容を復習.	30分 30分	守山
10	介入研究：仮説の設定と介入対象；介入群と対照群；介入過程の盲検化；一重盲検法；二重盲検法；インフォームド・コンセント／アセント	講義	マイクロレクチャー epd11 を予習して授業に参加・授業内容を復習.	30分 30分	守山
11	スクリーニング検査：人の一生とスクリーニング；カットオフポイント；疾病あり／なし；検査陽性／陰性；感度、特異度；ROC曲線の考え方	講義	マイクロレクチャー epd12 を予習して授業に参加・授業内容を復習.	30分 30分	守山
12	まとめ1：キーワードの復習 <a href="http://epidemiology-a.blogspot.jp/2016/12/review.html">http://epidemiology-a.blogspot.jp/2016/12/review.html</a>	講義	マイクロレクチャー epd13a を予習して授業に参加・授業内容を復習.	30分 30分	守山
13	まとめ2：四分表の計算 <a href="http://epidemiology-a.blogspot.jp/2016/12/review_13.html">http://epidemiology-a.blogspot.jp/2016/12/review_13.html</a>	講義	マイクロレクチャー epd13b を予習して授業に参加・授業内容を復習.	30分 30分	守山
14	まとめ3：文章から四分表を作成し計算する過程、疫学的な考え方 <a href="http://epidemiology-a.blogspot.jp/2016/12/review_56.html">http://epidemiology-a.blogspot.jp/2016/12/review_56.html</a>	講義	マイクロレクチャー epd13c を予習して授業に参加・授業内容を復習.	30分 30分	守山
15	定期試験に関連したフィードバック <a href="http://epidemiology-a.blogspot.jp/2016/12/review_54.html">http://epidemiology-a.blogspot.jp/2016/12/review_54.html</a>	講義	マイクロレクチャー epd13d を予習して授業に参加・授業内容を復習.	30分 30分	守山
先行履修科目					
テキスト	牧本清子 他：標準保健師講座・別巻2 疫学・保健統計学 第3版，医学書院，2015.				
参考文献	<ul style="list-style-type: none"> <li>・疫学マイクロレクチャー <a href="http://epidemiology-a.blogspot.jp/">http://epidemiology-a.blogspot.jp/</a></li> <li>・厚生労働統計協会編：厚生指標 増刊，国民衛生の動向 2017/2018，厚生労働統計協会出版，2017。（すでに旧版を持っていれば、それでも可。）</li> </ul>				
科目の位置づけ	疫学は、地域や集団内で、疾患や健康に関する事象の発生の原因や変動するさまを明らかにする学問である。健康問題、保健・医療・看護に対する科学的分析の思考の基礎となる科目である。				
ディプロマポリシーとの関連	人間の尊厳と権利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性を探究する力
				◎	○
評価方法	授業への参加（35%）、提出物（15%）、定期試験（50%）により総合的に評価する。				